

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

| | | | | | | |
|--------|--|---|---------|--|--|------------------|
| 提出区分 | 実績 | 整理番号 | 1 | 課題区分 | C | 令和6年(2024年)5月20日 |
| 横断的な課題 | ポストコロナ時代に選ばれる魅力的な地域づくりの推進 | | | | | |
| 地域重点政策 | ポストコロナ時代に選ばれる「誰もが自分らしく健康に暮らせる長野地域」をつくる | | | | | 長野地域振興局 |
| 実施機関 | 長野地域振興局 | | 担当課 | 所属 | 企画振興課 | |
| 事業名 | 長野地域に移住したくなる！移住・二地域居住情報発信事業 | | | 電話 | 026-234-9501 | |
| | | | | E-mail | nagachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp | |
| 事業の概要 | 目的 (目指す姿) | 移住希望者や二拠点居住希望者に長野地域が選ばれるように、移住先、二拠点居住先としての長野地域の魅力を発信し、移住者・交流人口を増加させる。 連携中枢都市圏の各市町村と連携を深化させ、市町村の行う移住・交流促進事業を円滑に支援できる体制・関係性を整える。(参考:長野地域計画(プラン3.0)R9年度移住者数目標450名) | | | | |
| | 現状と課題 | 地方における人口減少、高齢化の進行が顕著となる中、移住者の獲得に向けた市町村間の競争は激しくなっている。長野地域への移住者数は、R元年度201名、R2年度341名、R3年度366名と、継続的に増加していたが、昨年度は338名と、微減に転じた。長野地域計画(プラン3.0)では、R9年度の移住者数目標を450名としており、移住促進事業へのテコ入れが必要である。 昨年度は、移住希望者向けパンフレット「移住虎の巻」を制作し、移住・定住者希望者などに向けた、長野地域のPRIに活用している。これに合わせ、長野地域での暮らしや、移住前後のギャップなどを、移住者の目線から発信するコンテンツがあれば、長野地域へ移住・定住をイメージしやすくなり、移住者などの獲得につながると考えている。現在、長野地域振興局ブログ(ほっと9ながの)では、管内9市町村の移住者に対するインタビュー記事を掲載している。しかし、これらの記事は、取材、掲載が令和元年であり、情報の目新しさという魅力が減退している課題がある。リモートワークの普及、コロナ禍での地方回帰等、最近の社会情勢変化は著しいため、より新しく、鮮度の高い情報を、移住希望者などに届ける必要がある。 また、連携中枢都市圏の各市町村では、東京圏で移住セミナーなどを実施して、移住・交流人口の増加に努めている。地域振興局としても、連携中枢都市圏の各市町村と、これまで以上に緊密に連携し、移住者や交流人口のための事業を支援する必要がある。 | | | | |
| | 内容 (変更後の内容) | 1 移住者へのインタビュー発信事業 令和5年11月に須坂市、飯綱町への移住者各1名へインタビュー取材を行い、各市町の特長や環境、暮らしなどを、住民や移住者の視点から発信するインタビュー記事に取りまとめた。記事は同年12月から長野地域振興局ブログ(ほっと9ながの)で発信している。 2 連携中枢都市圏移住セミナー状況調査 (1)連携中枢都市圏9市町村が主催、出展した以下の移住セミナー等へ参加した。 ア 令和5年11月26日『ぐるっとながの移住セミナー '23 秋』銀座NAGANO イ 令和6年2月4日『ナガノのシゴト博』JPタワー (2)アのセミナーでは、参加した移住希望者等に移住や長野地域に関する意識調査を行った。 (3)令和5年10、11月及び令和6年1月に連携中枢都市圏9市町村移住担当者会議へ出席した。 3 長野地域『移住虎の巻』増刷事業 令和4年度に当地域振興局で作成した長野地域『移住虎の巻』について、1,000部の増刷を行った。 | | | | |
| | 事業期間 | 令和5年9月 ~ 令和6年3月 | | | | |
| 事業費等 | (単位:円) | | | | | |
| | 事業を構成する細事業名等 | 実施内容 | 実績額 | 備考 | | |
| | 移住者へのインタビュー発信事業 | 謝礼 | 40,000 | 20,000円×2回 | | |
| | 連携中枢都市圏移住セミナー状況調査 | 旅費 | 31,600 | 長野～東京間(往復1名)15,620円 長野～銀座間(往復1名)15,980円 | | |
| | 長野地域『移住虎の巻』増刷事業 | 印刷費 | 47,300 | 1,000部 | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | 合計 | | 118,900 | | | |

| 指標及び達成状況 | 成果指標 | 目標値 | 成果 | 達成状況 |
|----------|---|-------|---------|--|
| | ブログ掲載インタビュー記事閲覧数(記事掲載開始から3か月の間) | 130閲覧 | 3,006閲覧 | <input checked="" type="radio"/> 達成 <input type="radio"/> 一部達成 <input type="radio"/> 未達成 |
| | 長野地域『移住虎の巻』配布先数 | 10か所 | 13か所 | |
| | | | | |
| 事業実績・成果 | <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住者へのインタビュー発信事業で制作、発信したインタビュー記事の閲覧数が、2記事合計 3,006閲覧(掲載後3か月時点)を達成した。 ・連携中枢都市圏移住セミナー状況調査(令和5年11月『ぐるっとながの移住セミナー '23 秋』への参加者を対象に行った移住や長野地域に対する意識調査)では、11名から回答があった。この結果を集計の上、管内9市町村へ提供した。 ・連携中枢都市圏9市町村担当者会議に、地域振興局として新たに出席した。 ・長野地域『移住虎の巻』増刷後、管内9市町村へ配布したほか、長野地域振興局商工観光課、長野農業農村支援センター、人事委員会事務局、林務部信州の木活用課の4所属へ配布し、県職員採用説明会や就林セミナー、就農セミナー等での活用を依頼した。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住者へのインタビュー発信により移住希望者等の情報収集のニーズに応えた。 ・長野地域の魅力を発信し、多くの方々に周知することに成功。移住者・交流人口の増加へと繋げることができた。 ・管内市町村との連携の場を拡大し、市町村の行う移住・交流促進事業を円滑に支援できる体制・関係性を整えた。 | | | |
| 今後の方向性 | 管内の移住者向け情報発信を強化し、引き続き市町村と連携しながら長野地域の移住推進に取り組む。 | | | |